



燃費テスト報告書

「馬力向上」さらに「燃費向上」スポーツマフラー

P.B.S パワーブーストシステム搭載



GDE-637シリーズ CT200h用 馬力向上・燃費向上マフラー

左右4本出し 燃費向上率12.7%UP

総走行距離 147.8Km
 一般道路 31.8km (21.5%)
 高速道路 91.8km (62.1%)
 山間道路 24.2km (16.4%)

CT200h DAA-ZWA10 パワー/トルク/音量/重量データ (社内データ)

装着マフラー	パワー (ps)	トルク (kg・m)	7ftリッジ音量 (dB)	近接音量 (dB)	重量 (kg)
ノーマルマフラー	136.4	30.6	60.0	73.0	10.2
GANADOR P.B.Sマフラー	144.4	31.6	72.0	87.0	11.6

↑回転リミッター作動の高、2,650rpmにて計測。

CT200h DAA-ZWA10 燃費対比テストデータ (社内データ)

装着マフラー	テスト日	天候	走行距離 (km)	給油量 (L)	燃費向上率
ノーマルマフラー	2012/8/3	晴れ	147.8	7.52	...
GANADOR P.B.Sマフラー	2012/8/3	晴れ	147.8	6.67	12.7%アップ

Power : +8.0ps Torque : +1.0kg・m

P.B.S効果のデータです。

※1 P.B.S(パワーブーストシステム)の詳細は、弊社ホームページをご覧ください。

開発者のコメント

- CT200h専用マフラーは、乗りやすさを考え、低回転から粘りのあるトルクを出し、高回転までストレスなく続くパワー感を重視して設計しました。
- レクサスにふさわしい音量・音質にこだわった事と、テール部を左右いっぱい設置し、ワイド&ローに見えるスタイリングを重視しました。

※データは、当社シャーンダイナモでの計測値です。
 ※ノーマルマフラーのデータは、車両個体差・気温・気候等の条件によりメーカーカタログ公表値とは異なる場合があります。
 ※比較データ値は、全て同じ条件下で計測しています。

●当社実走行燃費比較テスト内容

お客様ご自身で検証を行う際は、下記ポイントを参考にして正しい方法で行って下さい。

① **テスト環境**
(強風・雨・渋滞では中止)

悪天候の時はダメ
同じコンディションで
測定しています。

- 同じ気温・気象条件で行っています。
- 強風・雨天などの悪天候、朝夕のラッシュ時を避け、同じ条件の日に実施。
- ➡ 途中で渋滞や強風が発生したら中止し、初めからやり直します。

② **走行条件**
(距離・速度を適正に保つ)

一般道や高速道路や
山道をおりまぜています。

- 【走行距離】当社参考データ
一般道 32km (約22%)
高速道路 92km (約62%)
山道(登り・下り) 24km (約16%)
※一般道だけの走行や距離が短すぎる場合、測定精度が落ちます。
- 【速度設定】当社参考データ
一般道及び山道は、交通法規に準じ、流れに合わせて。
高速道路は、法定速度にて巡航。

③ **満タン法**
(同じ給油条件)

車両のタイヤ位置と
向きを同一にし、
同じ油面で給油して
います。

- 燃費対比テストは最も正確と思われる「満タン法」で行っています。
- ※給油時の注意
同一のスタンドにて、同じ車両の向き、同じタイヤ位置で停車し、同じ油面で正確に給油し計測しています。
(車載の燃費メーターでは正確に測定できませんので要注意です。)
- 走行距離 (km) ÷ 給油量 (L) = 燃費 (km/L)
➡ 満タン給油時にオドメーターをリセット。

④ **運転方法**
(加速度と所要時間が同じであることを同じに行なう)

ノーマルで50km/hまでの
加速時間が50秒の時、
ガナドールマフラーの時も
同じ50秒で加速しています。

- 同じ距離を、同じ加速、同じスピード、同じ所要時間でテストしています。
- 【良い例】例えば、ノーマルで50km/hまでの加速時間が50秒の時、ガナドールマフラーの時も同じ50秒かけて加速するのが比較条件。
- 【悪い例】加速が早く、所要時間が短かった場合、アクセルを踏み込み過ぎていたので比較テストになりません。
- ➡ 省エネ効果が得られません。

同じ条件での運転で比較した場合、12.7%向上しました。

表記データは上記コース及び条件で
当社の計測した結果です。